

⑤ 能代地区 【水土里ネット能代地区】

水土里の実践活動～地域で土地改良施設を守ろう～

国営造成施設管理体制整備促進事業の一環として、「水土里の実践活動」を平成23年7月7日、平成23年8月4日に開催した。

平成23年7月7日の活動は、秋田県立大学の学生と教諭が参加し、大野分水工、荷八田幹線排水路にて施設周辺の草刈りとゴミ拾い等を実施した。

平成23年8月4日の実践活動は、淳城幼稚園の園児と職員が参加し、大野分水工にて花壇の植栽等を実施した。各日とも作業終了後に意見交換会を行い、地域資源である農業水利施設の持つ多面的機能の重要性を改めて認識しながら、農業者だけではなく、地域全体で土地改良施設を守っていかなければならないことを確認した。

今後も農業者だけではなく、地域住民や地元自治会等の非農家との活動を継続していけるよう定着を図りたい。



活動体制	
実施主体	能代地区管理体制整備推進協議会（事務局：秋田県能代地区土地改良区）
後援・連携	秋田県能代地区土地改良区
実施期間	平成23年7月7日、平成23年8月4日
参加者	7月7日 秋田県立大学 学生12名、教員1名 能代地区管理体制整備推進協議会 2名 秋田県能代地区土地改良区 役員1名、職員10名 計 26名
	8月4日 淳城幼稚園 園児45名、職員4名 能代地区管理体制整備推進協議会 3名 秋田県能代地区土地改良区 役員3名、職員10名 計 65名
報道関連	特になし
活動実施年数	7年
連絡先	〒016-0014 能代市落合字中大野台100番地23 秋田県能代地区土地改良区 TEL. 0185-54-3024
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット能代地区（三浦 誠樹）

○活動の目標及び達成率	目標	農業水利施設の多面的機能発揮のため、地域住民との施設管理協定締結等の新たな管理体制の枠組みを構築する。			
	達成率	80%			
○活動に対する評価	・協定締結や推進活動を継続してきたことにより、事業の趣旨や重要性が理解され、これまでの活動が定着段階にある。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	パンフレット及び看板を作成しPRしている
①役職員・組合員の参加	A	役職員が活動に参加し、地域住民と共同で作業を実施している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	C	活動を毎年継続していくことで、後継者の育成を図っている	①他組織との連携構築	B	地元自治会及び地域住民団体等と活動を実施している
2. 活動の意義性について			②地域住民等の理解	B	活動やPRを継続してきたことにより理解が深まってきている
①基本理念の設定	A	推進協議会で計画策定をおこなった活動を実施している	③施設管理・地域資源の保全強化	B	各施設で活動を実施することで保全管理の強化につながっている
②地域の歴史等の伝承	C	意見交換会等で造成工事の際の話題も取り上げている	④運動の地域づくりへの関わり	C	地元自治会と共同で活動を実施することで、地域づくりへ貢献している
③運動の先駆性	B	地域住民以外にも秋田県立大学の学生等が活動に参加している	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	E	農地・水・環境保全向上対策とは、施設を区分している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	C	活動で施設の保全強化を図っているため、少しは貢献している
①運動の継続性	B	活動を定着させるため、毎年度実施している	5. 今後の課題等について ・地域住民や地元自治会等との活動を継続し、実践活動の定着を図る。		
②運動の発展・拡大	C	市町の庁舎にもパンフレットを設置して活動の拡大を図っている			
③運動の計画性	A	推進協議会で計画策定をおこなった活動を実施している			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他